



住宅地を低空飛行する旅客機（撮影：大阪・豊中市）

品川区議会第一回定例会開催

羽田新ルート撤回へ 力をあわせましよう

日本共産党

区議会定例会が2月20日より約1ヶ月の日程で開会し、共産党は濱野区長の羽田新ルート計画容認をただしました。

区長は

撤回表明こそ

羽田新ルート計画に対する強い反対の声が広がるなか、昨年9月の区長選挙において濱野区長はマスコミ取材に対し「一品川区が反対するわけにはいかない」と計画容認を表明。翌日には多くの新聞社

が、この区長発言を報道しました。

ところが各地で開催されている住民説明会にて品川区は「容認も、了承も区はしていない」と区長の計画容認をゴマカシし続けています。

共産党はゴマカシを指摘し、国交省に計画撤回を表明するよう求めましたが、品川区は「住民への丁寧な説明を国に求めている」と撤回表明への質問には答えず、答弁をはぐらかしました。

低空飛行実施まで、あと1年

品川区民投票の実施で民意を示そう

問われる自民・公明

品川区長選挙で最大争点となった羽田新ルート計画の是非。計画内容の濱野区長を応援した自民・公明の責任は重大です。

また住民の皆さんより羽田新ルート計画撤回を求める住民署名は、すでに何度も区議会に提出されています。

ところが自・公などは、これを否決。最近では採択にも反対しています。

多くの区民が求めている羽田新ルート計画撤回に対し、品川区議会では、自・公が背を向けているため、区議会として国に計画撤回

を求めることができない状態が続いています。

区民投票の実施を

国交省が示す計画実施まで、あと1年です。

住民に大きな影響を及ぼす計画を、こんな状態で決定させるわけにはいきません。

そこで共産党は区民の民意を示すため、羽田新ルート計画の是非を問う品川区民投票の実施を提案しました。



本会議にて区長より

区民投票実現の考えは示されませんでした。

こうなると実施には条例の提出は議員提出又は区民の直接請求で可能ですが、問題は条例の成立で、可決には区議会過半数の賛成が必要です。

羽田新ルート撤回を

区議会の多数に

羽田新ルート撤回を国に求める事や、区民投票の実現には自・公で過半数を占める品川区議会をどうしても変える必要があります。

羽田新ルート撤回へ、

区民投票を実現させ、撤回の区民民意を国交省に示しましょう。

防災対策が前進

学校避難所、主要駅等にスマホ用の蓄電池

北海道のブラックアウトを受け、大規模停電時への対策強化が急がれる中、共産党は情報收拾や連絡手段として、住民のスマートホン用の充電器を防災備蓄に追加するよう求めてきました。

発表された新年度予算案には、防災対策としてスマートホン用のソーラーパネル式ポータブル蓄電池の配備が計上。防災対策を前進させることができました。

配置される蓄電池は、学校など全区民避難所、大井町駅や大崎駅など主要4駅、10カ所の区有施設等で、蓄電池1台で約290人分のスマホ充電が可能です。様々な災害に対する備えの充実へ、今後とも力を尽くしていきます。何か、良いアイデアやご要望などございましたらお聞かせ下さい。

なかつか亮 1975年品川区西大井生まれ／43歳／03年に27歳で初当選し、総務、区民、厚生、建設、文教と区議会5常任委員会を経験／現在、行財政改革特別委員会委員長／区議4期／家族：妻／29号線認可取消裁判原告／趣味：料理、旅行



なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配付して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。